

地図に残るしごと まちをつくる僕の未来

道路も建物も、すべては“測る”ことから始まる。
地図に残る責任あるしごとです。

有限会社 江崎測量設計社

創業：1969年（昭和44年）

所在地：川崎市多摩区南生田5丁目2-6

皆様にお伝えしたいこと

創業から現在まで、つながる想い

社長から皆様へ

私達は、創業以来、『時間の有効利用と創意工夫』を信条としています。お客様により有意義なサービスの提供を目指し、技術集団として常に技術力向上に努め業務に取り組んでいます。

今や「IT国家」の名の下、様々なものが電子（デジタル）化され、多種多様な角度から利用されています。地図の分野では、GIS（地理情報システム）と称し、地図データ上に様々な情報を重ね合わせ、知りたい情報をすばやく検索できるシステムが一般的になってまいりました。インターネット上では勿論、最も身近なところでは“カーナビ”でしょうか。

これらの情報をまとめ、扱っていくのも私たちの役割です。一方、膨大な情報の中からの必要情報の選定、個人情報や機密情報等の安全確保、利用者のモラルや機器操作などの学習も必要とされます。電子化情報は、様々な方に身近で安全に利用できるものでなければなりません。

私達は、それらを念頭に置き、日々努力し業務に取り組んでおります。日一日と変化する世上、多様化するニーズに柔軟に対応すべく、今後も努めてまいります。

代表取締役 江崎 一馬
一般社団法人 神奈川県測量設計協会 副会長
同 川崎支部 支部長



江崎測量設計を立ち上げた「親分」～ 創業者・江崎一重



1939年長崎県に生まれた江崎一重（かずしげ）は、武蔵工業大学（現・東京都市大学）を卒業後、(株)杉田工務店に入社。川崎市多摩地区での土木造成工事に従事し、部長職まで勤め上げました。

親分肌で人望が厚く、仕事帰りに部下や職人を自宅に招いて酒を振る舞うことも。景気悪化による給料の遅配時には、率先して会社に掛け合い、自身の給料から職人たちに支払うこともありました。

多摩川が氾濫しそうになる際に「親分」肌の一重の号令と共に社員や関係者が集まり、地域を守るべく土嚢を積みに向かって行きました。その眼には、土木に携わる者としての責任感が宿っていました。

その後、(株)杉田工務店は経営不振により解散。譲り受けた測量機器を元に、江崎測量設計事務所を創業。地元ではなかなか仕事が得られず、知り合いの伝手を頼って大阪や神津島（東京）まで足を運んで測量業務をこなし、事業を継続させました。

1980年ごろ、川崎市の入札参加資格を取得するも、指名入札を受けるまでには数年を要しました。その後も、3D解析ソフト、先進的な機器を積極的に導入し、新しいことへの挑戦を継続してきました。

当社のスローガン「時間の有効利用と創意工夫」は、一重と仲間たちの努力と挑戦の中から生まれたものです。

江崎測量設計社が目指すもの

地図をつくるだけじゃない。
社会と未来をつなぐ“原点”となる。

測量士の現在地と変曲点

測量業界では、業者数が2003年をピークに減少し、2023年には11,313社と約23%減少しております。競争激化により中堅・大手への寡占化が進む一方で、若手入職者の減少により、測量士の高齢化も進んでおります。しかし、測量士は将来性が高く、安定した職業とされています。

- 理由①：独占業務による安定需要
測量は資格保有者に限られた業務であり、公共事業などで継続的な需要があります。
- 理由②：若手人材の不足
20～30代の測量士が少なく、若手には活躍の場が広がっています。
- 理由③：収入の安定
他業種との比較では平均年収は高く、公共事業への関与で収益も安定しています。

若手にとっては大きなチャンスのある業界です。

一方で、測量業界は、技術の進化で大きな転換期を迎えています。技術の進化により、一部の大手企業しか使えなかった技術や装置が汎用化しています。特殊技術を持つ個々の企業が連携することで、高度な測量データを取得できるようになりました。

同時に、求められる技術水準も高度化しています。平面図など2次元データに加え、3次元測量に基づく3次元データも取り扱うこととなる中で、位置情報と連携した地理情報システム（GIS、Geographic Information System）への対応も必要とされています。より高精度で緻密な計測技術が求められる時代になってきました。

未来への可能性、当社が目指すもの

江崎測量設計社は、地域に根ざした測量の重要性を強く感じています。

当社の拠点である川崎・多摩地区を含め、神奈川県内には多くの土砂災害警戒区域やハザードマップ指定地域があります。近年は大雨や台風、地震、洪水などの災害が激甚化・頻発しており、防災・減災対策の必要性が高まっています。

減災、防災のための工事の基礎となるデータの作成を担うのが測量士であり、発生した災害現場に一番に駆けつけ、状況を把握するのも測量士です。地域に精通し、迅速に対応できる測量士の価値はますます高まっています。

新たな都市計画の実現、老朽化したインフラ更新にも測量が求められます。正確な地形・境界・構造物情報の提供は将来の都市の基礎となる重要な仕事です。

1969年創業の当社は、新たな技術を取り込みながら、高い信頼を得てきました。建築測量にも進出し20年以上の実績を積み重ねてきました。

当社は社会と未来をつなぐ“原点”となる測量を通して地域社会に貢献します。



沿革と現在の事業内容

我が社と社会の歩み

江崎測量設計社のあゆみ

1969年 創業

川崎市南生田にて、江崎一重が杉田工務店の測量機器を譲り受け、「江崎測量設計事務所」を個人事業として開業



当時の杉田工務店

1976年 法人化

「有限会社江崎測量設計社」として法人化、資本金1,000万円となり体制強化



江崎一重（創業時）

1980年 公共事業を請け負い開始

川崎市の入札業者に登録

1990年 本社移転

川崎市多摩区南生田に自社社屋建設し、本社を移転（現社屋）



旧社屋と創業時の社員

2000年 事業の多角化

現社長 江崎一馬入社。建築業での経験を活かし、補償コンサルタント、建築設計コンサルタント業務を追加し、事業領域を拡大



現社屋

2014年 HP開設

IT技術を地域に還元。パソコン教室、大型印刷サービスを実施

2018年 3D測量分野に進出

TLS（地上型レーザースキャナ）を導入。
江崎一馬社長就任



弊社HP

社会での出来事

1964年 東京オリンピック

1965年～1970年

いざなぎ景気（高度経済成長期）

1970年 大阪万博開催

1972年 日本列島改造論

自民党の政策綱領、全国的な高速交通網の整備を開始

1980～1991年 バブル景気

土地や株等の資産価格が高騰

1995年 阪神淡路大震災

測量・土木の防災・復旧の重要性を再認識

2000年

公共測量作業規程改正

測量成果のデジタル化進展

2011年 東日本大震災

地殻変動に伴うJGD2011導入、地形図や地理空間情報が刷新

2016年 i-Construction

建設DXの担い手として測量士の役割が拡大

2021年 東京オリンピック

2025年 大阪万博開催

現在の事業内容

測量全般

- ・土地の境界確認（立会）・境界復元・境界埋設に伴う測量
- ・土地の面積確定に伴う測量
- ・開発・工事に伴う測量、それら事前設計計画に伴う測量
- ・土地の登記（分筆・合筆・地積更正など）とそれに伴う測量 ※土地家屋調査士と業務提携

補償コンサルタント

- ・土地・建物・機械工作物等・営業・事業損失に関する調査及びそれらに基づく補償算定

各種維持管理

- ・各種土木設計検討・計算・図書作成・図面作成・整理
- ・各種土木現場管理・竣工図書作成・図面作成・整理

電子データ各種処理支援

- ・各種データ入力・フォーム作成・簡易処理ファイル作成等

測量の魅力や意義

測量はこんなにも魅力的！

自分だけの景色と出会える！

測量の現場に行くと「こんな景色があったんだ！」と一般の人達は見ることが出来ない素敵な一瞬を発見することがあります。

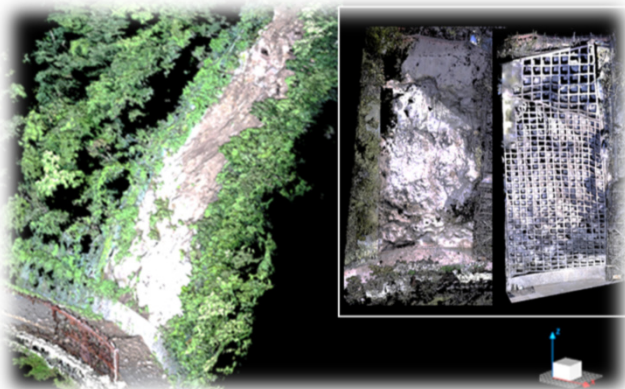
例えどんなに景色が良い場所に旅行で行っても天候や時間の関係で最高の瞬間に立ち会うことは中々できません。でも、測量で毎日同じ場所に通うからこそ、その場所の最高の一瞬に出会うことができます。これは測量で現場に出る特権だと思います。



地域の安全のために駆けつける！

大雨・土砂崩れなどの自然災害から街を守る防災分野でも私たちは活動しています。防災計画の工事や観測はもちろん、土砂崩れが起きてしまった場所にも出動します。

なぜなら、復旧計画を立てるにも、まず誰かが現地に行き、どの土地にどのような範囲で被害があったのかを正確に把握する(=測量する)必要があるからです。これは、この地域に根ざす私たちだから出来ることです。



土地を創り出す 最初の一步！

一見するだけでは、草木生い茂る藪や、ゴミがあるような何でもない場所でも、私たちが測量して図面を作ると「立派な土地」と、改めてその土地の価値を見出すことができます。

地元の関係者の方々と話し合いながら、その土地に価値を創り出す「最初の一步」を担う測量に、私たちは大きなやりがいを感じています。



形になったときの誇らしさ！

私たちの仕事のアウトプットは図面一枚です。

でもその図面には、mm単位で測量して設計してきた私たちの努力や想いが詰まっています。まだ何も無い土地に道路やマンション建設を計画するときにも、私たちが図面を作成することで新しい街の景色が見えるようになります。

そして工事が終わって形になった景色を眺めた時に「ここを自分たちが図面にしたんだな」と、とても誇らしい気分になります。



私たちの挑戦

挑戦心を忘れない！「今までにない測量を目指す」

3D測量といった最新鋭の測量、さらに一步先へ

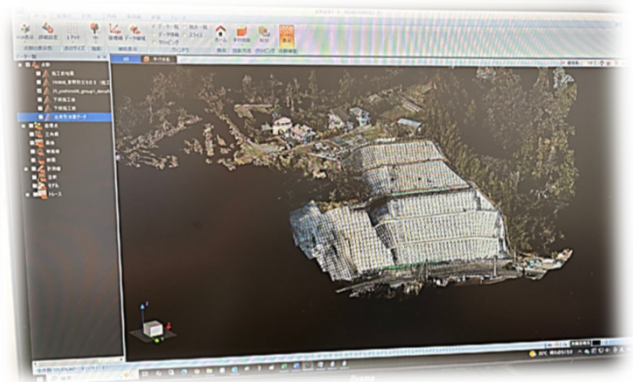
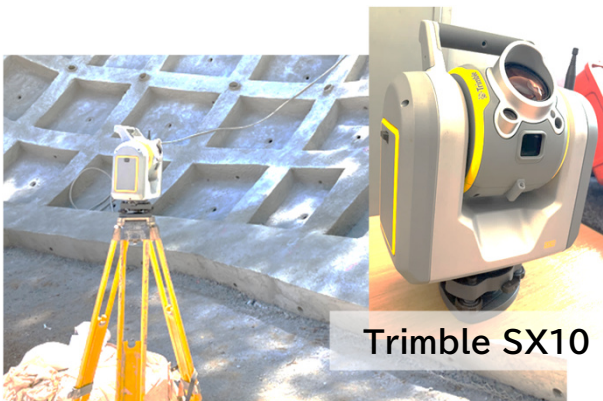
測量をもっと役立つ分野はないか？もっと便利で新しい方法はないか？と常に考えています。昨今話題の3D測量機器も地域で先駆けて導入してきました。実際にTLSやULS/MMS(外部委託)を活用し、点群データを修正・図面化する業務を行っています。

さらに我々は、これら最新機器やソフトをメーカーが想定する使い方に拘らず、様々なアプローチで機器・ソフトと向き合い、新たな使い方を見い出したり、課題や改良点をメーカーにフィードバック(提案)などすることで、「現場最前線の実務のプロ」として最新技術の更なる発展に寄与すべく取り組んでいます。

今まで3D測量が活用されていない分野で画期的な使い方が出来ないか等と発想を広げていくため、社員に「前職や興味、特技を活かしてどんどん提案してほしい！色々やってみよう！」と伝えています。

～用語解説～

TLS：地上型レーザースキャナ、ULS：UAV（ドローン）搭載型レーザースキャナ、MMS：車載型レーザースキャナ



TLSは当社の得意分野。ULSやMMSでカバーしきれない入り組んだ小さいエリアや影が多いエリアで活躍。

TLS、ULS、MMSなどの3D点群データを解析、図面化するソフト。当社は福井コンピュータ製を使用。

時間の有効利用と創意工夫



私たちの仕事

一人一人が主役で責任者

当社では営業や現場測量、図面作成だけという分業制ではなく、**一人一人が案件担当者となって全ての業務を責任をもって進めていきます。**

また、外での仕事ぶり全てが次の受注につながるという思いから、10年先でも再びお声掛け頂けるような仕事を心掛けています。



【仕事の流れ】

01 受注、契約

- 県や市などの案件に入札して仕事を受注。設計や見積もり金額の積算などにこれまでの経験を活かします。
- 受注割合は6割が公共工事で、4割が民間（特に建設会社）です。

02 準備、打合せ

- 準備として仕様書の読み込みや、**案件担当者の選定**を行います。
- 打合せでは、お客様の不安や負担を減らす「地域関係者のつなぎ役」として、**丁寧なコミュニケーション**を意識します。

03 事前調査、下準備

- 現場に出る前に、登記情報や公共の管理資料などを調査します。
- 下準備では、次の現場測量で**効率的な作業をするための段取り**が重要です。そのためにどうするか？を皆で気軽に話し合える風通しの良い雰囲気づくりも意識しています。

04 現場測量

- 案件に応じて、基準点測量や水準測量、路線測量、用地測量を現場で実施します。ここでは**1mmのズレ**も許されない意識で測量を行います。
- 仕事の割合は、現場測量と次の社内図面作成は50%：50%程度です。

05 計算、図面作成

- 現場測量で取得したデータをPCで計算し、図面化します。
- 後日私たちの図面が実際と合わずにお客様に迷惑をかけることがないように**誠意と責任をもって作図**します。

06 納品

- お客様から検査・確認を受け、図面を納品します。
- 私たちの図面が、全てのお客様の仕事の「**はじめの一歩**」となることが誇りです。



「測量の日」キャラクター
マッピーくん

「測量の日」をご存じですか？

6月3日は「測量の日」です。「測量法」が昭和24年6月3日に公布されたことに基づきます。平成元年、建設省（現国土交通省）が測量法の制定40周年を記念し、毎年6月3日を「測量の日」としました。「測量の日」関連行事などで登場するマッピー君を探してみてもいいですか？



出展：公益社団法人日本測量協会HP

江崎測量設計社のスケジュール

一日のスケジュール

弊社では社員全員が測量業務とデータ生成業務に従事しています。



8:30~9:00

出社・朝礼。チーム全員で当日の仕事内容を確認し、必要な道具や資料の準備を行います。安全確認も行き、一日を気持ちよくスタート！

始業！



9:00~12:00

現場作業または社内作業。測量機器を使って現場での位置測定やデータ取得、または事務所で図面作成やデータ整理をします。

測量



12:00~13:00

お昼休み。現場の日は近くのお店で外食も。オフィスの日は和気あいあいと休憩し、午後への活力をチャージします。

昼休み



13:00~17:00

午後の業務。測量の続きやデータまとめ、役所への提出書類の準備など。午後は集中して効率よく仕事を進めます。

データ整理



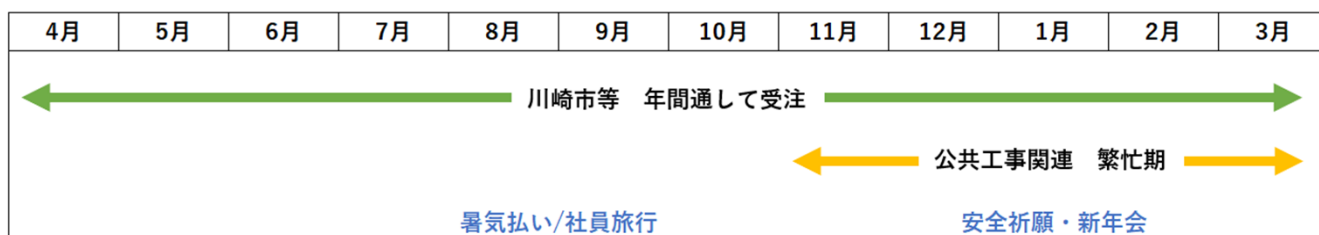
17:00~17:30

帰社・片付け・終礼。使用した道具を点検・整理し、翌日の準備や簡単な日報をまとめて、定時には退社できるよう工夫しています。

終業！



年間スケジュール



2022年…鬼怒川
2023年…筑波方面
2024年…伊勢方面

【隔年で日帰りと1泊2日の社員旅行】



スタッフ紹介

坂梨 匡哉 【本来ならアクション俳優】

アルバイトから江崎測量で働き、先代にはお世話になりました。現在は社員の業務割り振りを担うベテランです。少林寺拳法が縁で入社し、温かい社風に魅了され長年勤務しております。

新技術への適応にも努力を惜しまず、若手を尊重しながら自らも勉強中。地球を測るという測量の本質に誇りを持ち、図面一枚に込めた苦労を理解してほしいという想いがあります。今後は先輩から学んだ基礎をまとめて、次世代に伝承することを目指しています。



佐藤 学 【いまでもレフトを守っています】



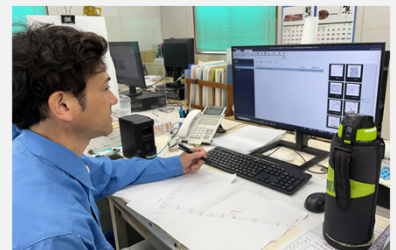
元SEで、父親が在籍していた縁で入社しました。測量は分業制でなく一貫して携われる点が魅力です。チームで連携しつつ現場と内勤を両立する働き方にやりがいを感じております。

資格取得を目指しながら、より深い専門知識の習得にも意欲的に取り組んでいます。会社の強みである柔軟な休暇体制と社内の協力体制に安心感を持ち、今後は技術・資格の両面での成長を志しています。

清水 飛悠 【子育ての名人】

元SEで、大手から中小企業に転職しました。育児をしながら現場のリーダー役も担っております。責任を持たされる社風にやりがいを感じ、OJTにも積極的に取り組んでいます。測量は、高度なデジタル技術を活用しミリ単位の精度で図面をつくる極めて専門性の高い仕事です。

精密な測量業務に責任感と達成感を抱き、日々の現場での学びと仲間の支えに感謝。やる気があって自主的な行動をする後輩が入社してくれたらいいなと期待しています。



川崎 文史 【旅行の達人】



元観光業で、添乗員経験を持つ異色の経歴。コロナ禍を機に安定を求め測量業界に転職しました。顧客対応力と柔軟な発想力を活かしながら現場で活躍。

3年目ながら意見が通る風通しの良さに魅力を感じ、明るい性格と行動力で仲間とのコミュニケーションを大切にしながら、日々スキルアップに励んでいます。日々の仕事のなかで、お客様からの「今日も暑いのに大変ね!」と何気ない言葉に勇気をもらっています。

測量を通じて都市開発から建設コンサルタントまでを行っています。
みんな、当社の技術者として、幅広く活躍しています。
性別や資格の有無は問いません。未経験の方でも大丈夫です。

「やる気とチャレンジ精神のある方 大歓迎です！」

当社は効率の良い仕事の進め方を社員全員で一緒に考えながらやっていくというスタイルです。
あなたのやる気のある斬新な発想を当社で活かしてみましよう！

採用関連情報

測量士※資格取得支援制度

当社では、入社1年目に測量士資格を取得するために1年間右記の専門学校に通学していただく用意があります。

(授業料全額当社負担)

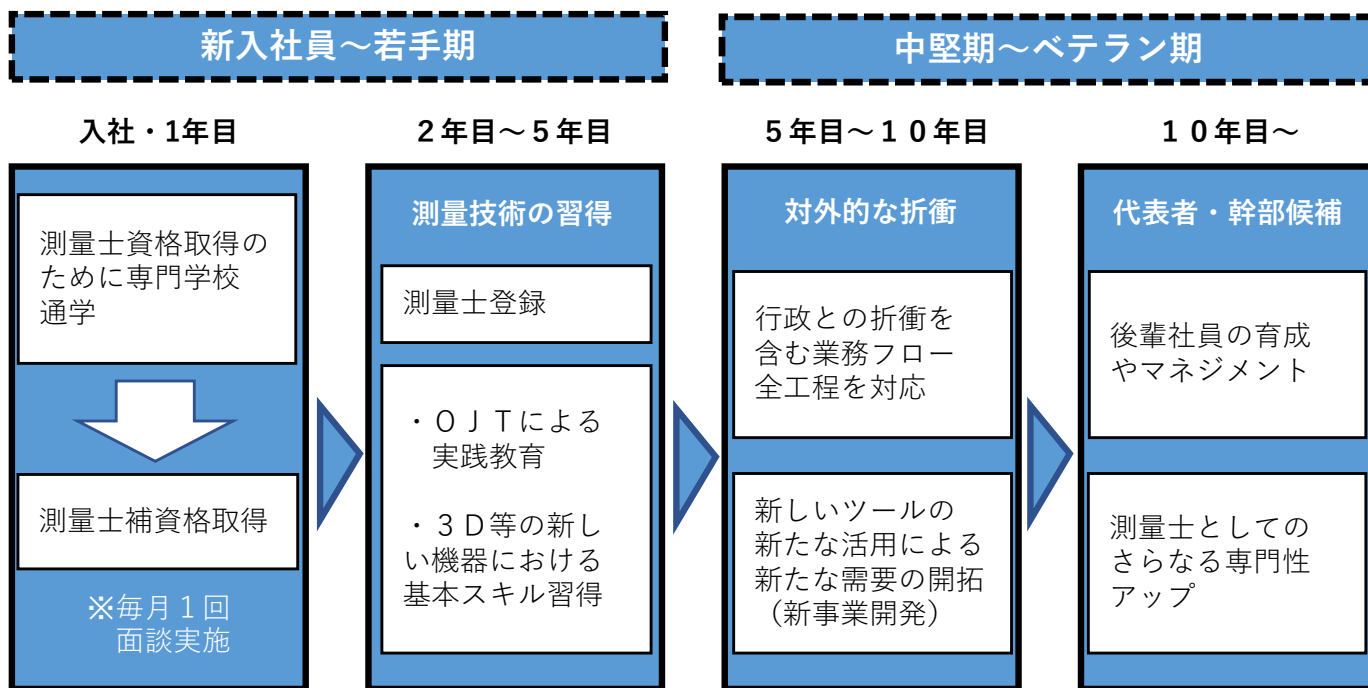
測量実務に携わる前の1年間、測量についての学習に専念できる当社独自の制度です。**(通学中も給与支給)**

※測量士は土地や建物の測量を行う専門家で、測量法に基づき国が認めた資格(国家資格)です！



中央工学校
東京都北区王子本町1丁目26-17
写真は中央工学校HPより引用

当社のキャリアパス



会社概要

社名 : 有限会社 江崎測量設計社
代表者 : 代表取締役社長 江崎 一馬
所在地 : 神奈川県川崎市多摩区南生田5丁目2番6号
資本金 : 10,000,000円
従業員 : 7名
(測量士2名、測量士補3名、1級土木施工管理技士1名、SXF技術者2名、地理情報標準認定資格者1名)

事業内容 : 測量全般 補償コンサルタント 各種設計 他

主な実績 : 川崎市 (都市計画道路矢向鹿島田線ほか用地測量)
川崎市 (地籍調査測量及び境界標埋設)
神奈川県 (急傾斜地崩壊対策工事)
東京都 (都立広尾病院敷地測量)
東京都 (現況平面測量)
民間業務多数 (建築測量、土地測量等)



有限会社 江崎測量設計社

所在地：川崎市多摩区南生田5丁目2-6

<アクセス>

【徒歩】

小田急線 生田駅 北口から
南生田方面へ約20分

【バス】

小田急線 生田駅から
『長沢団地行き』バスに乗車
川崎市市営バス 生01 生02系統
乗車「長沢団地」下車徒歩1分

